

シーズ名	安心でインタラクティブなコミュニケーション技術	分類：6
所属 / 職 / 氏名	ソフトウェア情報学部 / 教授 / 村山 優子 ソフトウェア情報学部 / 准教授 / 齊藤 義仰 ソフトウェア情報学部 / 助教 / 西岡 大	
キーワード	インターネット利用技術, 安心とトラスト, インターネット放送	
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: blue; text-align: center;">どんな技術？</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: blue; font-weight: bold; text-align: center;">インターネットを安心して利用するための技術や、 インタラクティブにコミュニケーションするための技術です。</p> </div> <p>インターネットを利用したコミュニケーションに関する研究を行っています。主に、インターネット上で安心・安全なコミュニケーションを実現するための研究や、視聴者を中心としたインタラクティブなインターネット放送システムに関する研究をしています。また、世界中の人々の生活を、さまざまな側面から支援するための、コミュニケーションシステムを開発しています。さらに、これらのシステムを、被災地で応用出来るように検討しています。</p> <p>【研究の事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心とトラストについての研究 ・不快なインタフェースの研究 ・視聴者指向のインタラクティブなインターネット放送の研究 ・インターネット上のプリンタを自由自在に利用可能にするシステム：PrinterSurf ・復興状況を確認するための復興ウォッチャーの研究 ・被災地で利用できるバーコードを用いた簡易型商店システム 		
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: blue; text-align: center;">何に使えるの？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 安心の要因は何かを明らかにする研究を進めています。これが実現すれば、安心感を得られるインタフェースの開発等が可能になります。 ● 不快なインタフェースは、利用者に危険な状況であることを気付かせることができます。 ● インターネット放送は、視聴者のフィードバックを利用した、インタラクティブな放送システムの開発に取り組んでいます。視聴者の要求を最大限満たしながら、インターネット放送ができるようになります。 ● PrinterSurf は、商用化も考慮にいれ、インターネット上のプリンタを検索し、印刷依頼できるようなプリンタシステムを実現しています。 ● 復興ウォッチャーにより、被災地の復興状況を動画や静止画で確認できるようになります。 ● 被災地の仮設住宅などで、バーコードリーダーだけで容易に利用できる商店システムを実現しています。 		
関連特許		
関連資料等	ウェブページで成果を公開しています http://www.comm.soft.iwate-pu.ac.jp/	

一言アピール